

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021.05.31

担当：学びの場クリエイター 西村



5月28日（金）

入野小学校4年生「らっきょう収穫」

らっきょう栽培が盛んな町内の万行地区。4年生は、この地区の人々の想いと歴史も学びながら、「人権学習」としてらっきょう栽培を体験します。先生は、松田真紀さん。

体験中に出会った、子どもたちのつぶやきを紹介します。

・「根っこはりすぎ!」「けっこう力があるなあ」「まとめて持ったら、引きやすいかな?」
(実感と、小さな工夫)

・「わあ、三つ子」「なに子までおるかな?」「残っていたら、かわいそう」「1つ、何百円やろう?」
(らっきょうの1粒ずつに注目)

・「腰がいたい」
「ずっと座っていたら走りたくなる」
(松田さんが「こんな道具もあるよ」と三輪車のような道具を紹介してくれました)

・「終わりが見えん」「地道」
「疲れた。ふつうに疲れる。。。」
(大変さを、体感、実感)

・「最初は難しかったけど、慣れたら簡単になった」「全部やりたい!」という声も。
「やっているうちに楽しくなった」という最後のあいさつに、「うんうん」とうなずいてみんなが共感する様子も印象的でした。

らっきょうは、9月の暑いときに植え付けをして、5月までずっとお世話が続きます。長い時間をかけてようやくできるらっきょうは、一粒一粒が宝もの。一つ一つ根を切る作業は大変ですが、収穫の喜びがあります。このらっきょうの風景と歴史を、ずっと残していきたいですね。



けっこう力があるなあ



何粒ついているかな？



一粒も残さないように…



座りながら収穫ができて、葉を切る刃もついている道具



班ごとに、かごいっぱい収穫



これはあですか？（切り方の確認）



一つ一つ根を切ります



みんなで手洗いをした後、ぐるぐる回る機械で仕上げをすると… 「わ～、ピカピカ！！」

